



最終日での集合写真。参加国は、フィジー、ソロモン、バヌアツ、PNG、マーシャル、トンガの計6カ国でした。

第2回 JICA 大洋州 NCDs 在外研修

青年海外協力隊 2018 年度 1 次隊 派遣国：トンガ王国 伊藤有未（三郷市）

第2回 JICA 大洋州 NCDs 在外研修が、8月28日から3日間、トンガの首都ヌクアロファで開催されました。企画書提出者は、この私。今年2月にフィジーにて開催された第1回 JICA 大洋州 NCDs 広域在外研修を受け、当研修の継続意義を感じ、企画に踏み出しました。研修の成果を活かし、活動が軌道に乗り、第1回開催での大洋州のネットワークも途絶えることなく、任国に活かしていったとの思いが、主な背景でした。

第1回研修は、初回かつ立案からの時間が短いとの理由から、駐在日本人調整員が指揮を執りましたが、第2回は在外研修本来のあり方である隊員主体で、運営を進めました。メーリングリストの作成から始まり、プログラム内容が話し合



各国進捗発表の司会進行。余裕もなく、少しこわばった表情。

いの中心となりました。看護師、栄養士、理学療法士他、参加者は多職種構成。協議を重ねた結果、①BMIとは？！の説明 ②第1回開催からの各国進捗発表 ③モチベーションインタビューの導入 ④ヘルシーミールコンペティション ⑤エクササイズ ⑥同職種意見交換 ⑦異業種ケーススタディ ⑧今後の活動計画の策定 ⑨3日間の総括として日めくりカレンダーの作成と盛り沢山でした。

運営側として、誰もが主体性を感じながら参加してもらえるよう、各隊員が担当セッションを持つように調整。また、第1回参加国で、今回不参加となった国には、事前に活動進捗報告のビデオ作成を依頼し、研修当日に上映。運営側の配慮と一工夫で、派遣時期や活動の兼ね合いで不参加となった隊員とも互いの連携強化が可能となる一例を示すことができたかと思えます。

セッション別の報告は別号で書かせていただくこととし、研修の総評として、私の隊員目標である「誰かのきっかけになる」は僅かながら達成の一步を踏み出したと言えます。参加者からは研修を機に、任国で早速活動計画に基づいた取り組みやNCDs対策のアクション始動の報告を受けています。今後は、隊員発信の活動報告を中心としたSNS配信も行い、改善に向けた強化を図ります。



チームトンガ。
保健省2名は紫色、
農業省の私たち3名
は赤色で衣装を統一。